

第6回 福井県原子力安全専門委員会 議事概要

原子力安全対策課

1. 日 時：平成 16 年 9 月 6 日 17:20～17:50
2. 場 所：県庁 6 階会議室
3. 出席委員：中川委員長、木村委員、岩崎委員、柴田委員、山本_和委員
(県) 旭部長、森阪課長、寺川参事
(関西電力) 岸田副社長、森中チーフマネージャー、仙藤マネージャー
4. 議題
 - 1) 第 2 グループ (美浜発電所 1 号機、高浜発電所 1 号機、大飯発電所 2 号機)
および定期検査中プラント (高浜発電所 4 号機、大飯発電所 3 号機) の点検計画について
 - 2) 美浜発電所 3 号機の安全確保対策について
 - 3) 高浜発電所 3 号機の点検結果について
5. 議事概要

(資料 1 「美浜発電所 3 号機 2 次系配管破損事故に係る第 2 グループ (美浜発電所 1 号機、高浜発電所 1 号機、大飯発電所 2 号機) および定期検査中プラント (高浜発電所 4 号機、大飯発電所 3 号機) の点検計画」について、関西電力の仙藤マネージャーより説明)

(柴田委員)

 - ・ (原子力安全・保安院より追加点検の指示があった箇所についての点検計画について、大飯 2 号機で) 管理状況の妥当性を確認するためとあるが、これは詳細測定を行うということか。

(森中チーフマネージャー)

 - ・ (大飯 2 号機の) この箇所については、「管理状況の妥当性」と書いてある。これは、(我々として) 十分寿命があると考えている箇所であるが、今まで計測されていない箇所もあるため、(次回、次々回で点検を計画しているが) この際、停止した折に計測しておこうというものである。これは、既に大飯 3 号機でも行っている。

(資料 2 「美浜発電所 3 号機の安全確保対策」について、関西電力の森中チーフマネージャーより説明)

(中川委員長)

 - ・ 設備類がどのくらい破損しているかなどの調査は進んでいるのか。

(森中チーフマネージャー)

- ・ 火災警報装置などは、中央制御室においても（故障しているかどうか）把握できるが、ポイントになるのは、電気品（電装系）である。今回、かなりの水が漏れいしており、これから逐一チェックしていく必要がある。
- ・ 万が一、漏電ということがあれば大変であり、このあたりを至急チェックしたい。今のところは、全体は把握できていない。これから調査することになる。

(中川委員長)

- ・ 今回、切り出した配管部分以外のところの保管措置の話があったが、事故から半月以上経過しており、何か影響はあるのか。

(森中チーフマネージャー)

- ・ 当然のことながら、今回、切り出した部分を含めて、錆がでてくる。これらについては、今の段階で問題となるものではないと考えており、いずれ（水を張り循環させる）クリーンナップ系などをもちいて対応できると考えている。
- ・ ただ、長期間放っておくと、錆がどんどん広がっていってしまう。

(中川委員長)

- ・ それが、また、変なことを引き起こさなければよいが。

(岩崎委員)

- ・ 原子炉からの燃料取り出しというのは必要な作業なのか。素人的に考えれば、今が安定であれば、原子炉から燃料を出さず、格納しておいた方が安全なのではないか。

(岸田副社長)

- ・ 使用済燃料プールに保管しておくのが安定した状態である。原子炉容器内に燃料がある間は、余熱除去系で冷やしている状態であり、それよりも、燃料プールに保管しておく方がよい。

(寺川参事)

- ・ 今の件について補足させていただく。美浜3号機は、もともと定期検査に入る予定をしていたので、燃料取り出しは必要な作業になる。したがって、一度、燃料を取り出す形になる。

(中川委員長)

- ・ 今、聞くべきことではないかもしれないが、（この資料安全確保対策に関する）調査や補修などについて大体、どのぐらいの期間を要するのか。

(森中チーフマネージャー)

- ・ 水や蒸気のかぶった範囲の特定、機器の状況をみないと、なんともいえない。どのぐらいの期間かかるかと言える状況ではない。

(中川委員長)

- ・ 前回の委員会で資料の提出のあった高浜3号機の点検結果についてだが、高浜3号機の肉厚測定の結果は、すべて最小肉厚を満足していた。
- ・ この点検結果について、委員から意見等を出していただいて、いずれまとめたいと考えているが、現時点で意見があればお願いしたい。

(柴田委員)

- ・ 最初、8箇所だけを点検する話であったが、その後、(測定箇所も増え)詳細測定も行ったということで、このことについては安心をしている。最初は「8箇所でのいいのか」という疑問もあった。
- ・ 前回委員会においても20mmピッチで測定する詳細測定の話もあり、エンジニアリング的には安心できるのではないかという印象を持っている。

(柴田委員)

- ・ もう1つ、先ほどの資料1の話だが、(1枚目の下の方で)「b」の注釈で「原子力安全・保安院の指示により、今後点検箇所が変更されることがある」とあるが、具体的に数の話とかはどうか。

(仙藤マヂャー)

- ・ まず、指示はないと考えているが、指示であるので、追加等は否定するものではないという意味で記載している。

(中川委員長)

- ・ この点検結果をどう見るかということで、まとめをしたいと考えているが、今日は私も含めても5名の委員しか出席していない。このため、他の委員の意見も踏まえて、まとめたいと考えている。
- ・ まとめに関しては、「これまで点検された箇所については、特に問題になるものはなかった」ということをベースにまとめたい。この「まとめ」に関しては、委員長に一任させていただきたい(各委員了解)。

(寺川参事)

- ・ 本日の、国の事故調査委員会でも話が出たが、再発防止対策の検討項目についてご意見を(いただきたい)という話があったので、県の方でもまとめて国のほうに提出したいと考えている。
- ・ このため、当課の方にご意見をいただきたいと考えている。
- ・ それから、(美浜1号機、大飯2号機、高浜1号機の第2グループの)点検計画については、来週の月曜日(13日)～水曜日(15日)となっている。
- ・ これについては、9日までに、誰が点検計画に立ち会うか等について決めた上で、連絡させていただきたい。
- ・ 高浜発電所の場合、1号機と4号機が同時期に点検を行うため、このあたりについては、うまく手分けしてやるなど考えさせていただきたい。

(以上)